

## 関西地区 FD 連絡協議会報告書

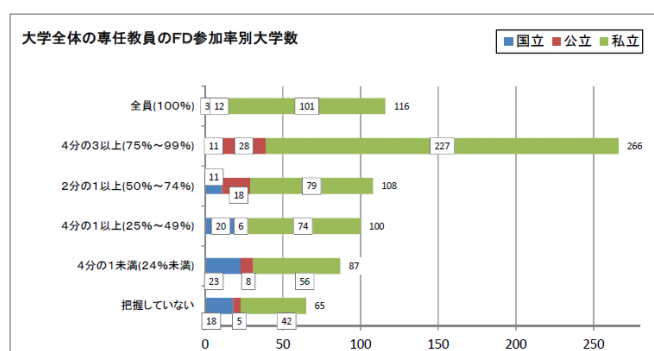
氏名： 美馬久美子

所属/職名： 大学企画室 次長

参加セミナー名： 関西地区 FD 連絡協議会第 7 回総会

参加日時/場所： 平成 26 年 5 月 17 日 / 京都大学百周年時計台記念館

文部科学省高等教育局大学振興課長 里見朋香氏の基調講演「FD の現状と課題について」では、「大学における教育内容等の改革状況について」（平成 23 年度実施）の調査結果から



FD の現状が報告された。平成 20 年に FD が義務化され、以降、ほぼすべての大学で実施されるようになり、FD 活動に参加した専任教員の割合について「4 分の 3 以上」と回答した大学が 382 大学となっている。また、先進的な FD の具体的な取組内容や FD の課題につい

ても報告があった。

その後、FD 分科会が 3 つの会場に分かれて実施され、その中の、谷美奈氏（帝塚山大学）と松下佳代氏（京都大学）による「学びの意欲が持てない現代大学生の自己像とは？—彼らをどう理解し支援するのか—」に参加した。日々の大学の中で“どのような学生に”、どのような支援ができるのか／できなかったのか、個々の参加者の体験を各々ワークシート上で言語化し、グループ内で互いの経験についてつっ込みあいながら、掘り下げ、とらえなおすという作業を行った。その中で、気づいたことを **Keyword** 化していくと、「意欲を持てない原因がきっとある」という共通の認識が浮かんできた。そしてやってはいけないことは「頭ごなしに叱ること」で、どこでつまづいて自信をなくしてしまったのかといった学生の背景を知り、見てくれる教員や職員がいるという意識を学生に持ってもらうこと、学生と良い人間関係を築く努力をすることが大切であろうという結論にいたった。

「FD 活動報告会 2014」では、25 大学から取組の報告があり、本学からは、フロンティアサイエンス学部の松井教授が「学生の個人専用デスク集合スペース MyLab（マイラボ）を中心とする教職員・学生一体の科学教育」という題目でポスター発表を行ってくださった。